

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

<はやま湖G 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G-1	○	○	○	○	○	○
G-2	○	○	○	—	○	—
G-4	○	○	○	—	○	—

<はやま湖G 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R7.8.29	10:45	10:25	29.2	13.6	軟泥	7.5Y3/1	植物片	12.6	2.4
15.4												
G-1 (下層)	37.7267°	140.8223°		10:00	09:45	29.2	25.5	砂泥	7.5Y6/1	植物片	5.2	2.4
27.1												
G-2 (表層)	37.7267°	140.8223°	12:00	12:00	26.9	26.9	砂礫	7.5Y5/3	なし	0.3	>0.5	
G-2 (下層)					27.1							
G-4	37.7382°	140.8035°										

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R7.8.29	10:45	7.9	1.5	5.1	10.7	8.1	0.05	2.4	3	2.6	N.D. (0.0015)	0.0071	—
G-1 (下層)					7.5	0.8	4.1	8.2	9.4	0.05	1.9	3	1.7	N.D. (0.0015)	0.0096	0.0011
G-2 (表層)	37.7267°	140.8223°		10:00	8.6	1.0	4.6	9.9	7.9	0.04	2.4	2	1.6	N.D. (0.0013)	0.0058	—
G-2 (下層)					6.7	<0.5	3.6	2.1	7.9	0.04	1.9	2	1.2	N.D. (0.0014)	0.0077	—
G-4	37.7382°	140.8035°		12:00	7.6	<0.5	2.3	8.0	10.3	0.05	1.1	<1	0.4	N.D. (0.0015)	0.0076	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G-1	37.7348°	140.8102°	R7.8.29	10:25	7.0	206	59.5	12.9	48.0	2.450	0.0	0.0	1.1	14.4	75.6	8.9	0.028	0.85	18	1800	2.9
G-2	37.7267°	140.8223°		09:45	6.9	337	27.5	2.6	0.9	2.650	12.5	21.3	42.0	17.5	4.7	2.0	0.55	19	1.9	160	—
G-4	37.7382°	140.8035°		12:00	7.6	396	26.7	2.3	0.6	2.650	20.5	49.8	26.0	1.8	0.8	1.1	1.2	9.5	1.8	160	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
G-1 G-2 G-3	湖内	37.7348° 37.7267° 37.7302°	140.8102° 140.8223° 140.8307°	R7.8.29	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0.0057	—	—	—	N. D.	N. D. (5.1)	N. D. (4.0)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.90	成魚	不明消化物	内臓除去	26	N. D. (1.6)	26	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Micropterus salmoides</i>	オオクチバス	1	2.5	成魚	空胃	内臓除去	62	N. D. (1.9)	62	0.35	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	1.8	成魚	空胃	内臓除去	47	N. D. (1.4)	47	0.33	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	61	1.7	未成魚	魚卵、植物片	内臓除去	25	N. D. (1.3)	25	0.41	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	60	1.7	未成魚	不明消化物	内臓除去	27	N. D. (1.6)	27	0.53	
G-4	流入河川	37.7382°	140.8035°	R7.8.29	藻類・植物	—	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.019	—	—	—	35	N. D. (2.2)	35	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	35	0.030	幼虫	—	—	4.2	N. D. (1.3)	4.2	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	232	0.030	未成体	—	—	7.0	N. D. (1.6)	7.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	34	0.18	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	13	N. D. (2.1)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	175	2.6	未成魚/成魚	—	—	24	N. D. (1.3)	24	0.38	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius cuvieri</i>	ゲンゴロウブナ	1	1.6	成魚	空胃	内臓除去	16	N. D. (1.5)	16	0.74	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0.025	未成魚	空胃	内臓除去	13	N. D. (2.1)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ツノフナシ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	1	0.039	未成魚	不明消化物	内臓除去	21	N. D. (3.0)	21	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	75	0.14	未成魚/成魚	—	—	7.4	N. D. (0.61)	7.4	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属										
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.1	成魚	空胃	内臓除去	120	N. D. (3.3)	120	0.26	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.1	成魚	空胃	内臓除去	53	N. D. (5.4)	53	0.75	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.2	成魚	空胃	内臓除去	97	N. D. (3.1)	97	0.58	
					脊椎動物	両生	無尾	ヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	アズマヒキガエル	1	0.16	成体	—	—	25	N. D. (3.1)	25	—	
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.26	—	—	—	25	N. D. (1.2)	25	—						

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。